



インスピレーションになるう

《第2530地区活動目標》

1. 会員風俗の維持と強化
2. POLの推進への取り組みと支援
3. TAKE ACTION
みんなで行動を起こしましょう
4. RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践
5. 公共イメージの向上
6. 全クラブでロータリー賞に挑戦しよう
7. 研修制度の充実
8. ロータリー財団への理解と活用
9. 米山記念奨学会への協力

WEEKLY REPORT OF IIZAKA ROTARY CLUB, DIST. 2530 広報委員会作成

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 平井義郎
 ガバナー補佐 渡邊武
 会長 吾妻一夫
 幹事 村上裕司

九月は基本的教育と
識字率向上月間

2018～2019年度 ◆例会日/木曜日12:30 ◆例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 バリー・ラシン 事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)542-3604
 イーストナッソー・ロータリークラブ(バハマ)

9月は特別月間:ロータリーの友月間

通算

第9回 [2930] 例会報告

平成30年(2018)9月6日(木)

出席委員会報告

会員総数	37名
出席会員	23名
欠席会員	14名
出席率	62.16%

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

◆開会点鐘 吾妻一夫 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 村田安啓 会員

◆四つのテストの唱和 西山友幸 職業奉仕委員

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 9月7日 篠木勝司 会員 ♪♪♪♪

.....lunch time.....

◆会長あいさつ

前回から延び延びになっておりますが、今日は「板割の浅太郎」のお話で、叔父の勘助は十手持ちでしたが、国定忠治が夜な夜な高崎の辺りの賭場に入り出て、夜は酒、博打、女と暴れておりました。その一の子分が板割の浅太郎です。勘助は忠治を追い回すわけですが、それを見かねた忠治は浅太郎に「俺から離れろ」と言いたいのですが言えず、「お前が俺の子分でいたければ、俺を追い回しているお前の叔父貴の首を持ってこい」という話をします。一途な浅太郎は親分に言われたからにはこれを守らなくてはならないと思い、そこで浪花節や歌が色々出てきますが、浅太郎が勘助の首を取る時に泣いて刃を振り上げたというのがこの場面です。そんな浮世なところですが、本当の気持ちを浅太郎は読めなかったのです。そのために本当に勘助の首を取ってしまったのです。親分の所にその首を持ってきて「親分、これが勘助の首です。どうか杯を返さないでくれ」と言いますが、親分は「お前は俺の気持ちが分からなかったな」という風になり、実際は忠治と浅太郎と一緒に居れば、こういう悲劇を繰り返すからお前は俺から離れろということと言いたかったわけです。親に勝る育ての親の勘助ですから、その人の首は取れまいと思って忠治は言ったわけですが、義理と人情の世界で本当に首を取ってしまいました。そんな人の心を読む、その人の身になって考える、そんなところが日本人の奥深いところにあるのではないかと思います。赤城の子守歌はその辺から出てきます。勘助には勘太郎という幼子がいたのですが、その子供は忠治と一緒に追われ、あっちの山こっこの山、あっちの軒先こっこの軒先と歩くのです。勘太郎はのちに立派な庄屋の跡継ぎになったという話で、それまでは忠治と一緒に関所破りやら歩いたわけです。忠治が勘太郎を預かって、浅太郎は無罪放免、一人旅に出るわけですが、そんな世界、人の心を読むというのが今の時代でも何か通じるといってお話させていただきました。次回は時間がありましたら、「吉良の仁吉」のお話をしたいと思います。臨時理事会の報告ですが、国際奉仕委員長の生田目さんが、飯坂柔道スポーツ少年団の保護者会の会長をしております。そのスポーツ団は非常に優秀な成績を収めており、遠征の資金繰りで困っているのを援助をお願いしたいというお話で、これは地域貢献としてぜひやらせていただきたいということで3万円を援助する事が決定いたしました。皆様のご理解を賜りたいと思います。



◆幹事報告 村上裕司 幹事

A. メーキャップ報告

- | | | |
|-------|-------------------------|---------------------|
| 8/25 | 地区会員増強・拡大ロータリー情報委員会セミナー | 村上裕司、安斎忠作 各会員 |
| 9/1 | 地区公共イメージチームIT合同委員会 | 吾妻一夫、紺野容樹 各会員 |
| 9/1～2 | 地区米山梅吉記念館研修旅行 | 佐藤喜市郎 会員 |
| 9/2 | 地区プロジェクトグループ合同セミナー | 村上裕司、鈴木重忠、生田目正志 各会員 |

◆地区米山梅吉記念館研修旅行の報告 佐藤喜市郎 会員

去る9月1日2日と米山奨学生、学友会の研修旅行があり、米山梅吉記念会館がメインで総勢38名で行って参りました。また、大橋パストガバナーが理事になっておりますのでお話をいただきました。三島大社を参拝し、その後に懇親会がありましたが、私がこの旅で感じたのは、ダット君は非常に真面目だという印象でした。スピーチの内容もそうですが、懇親会の二次会でも襟を正して崩すことも無くきちんとしており、皆様方には当クラブは素晴らしい米山奨学生を預かっているという事をご報告いたします。

◆スマイリングBOX 中島定宏 副委員長 【合計3-35】

- | | | |
|---------|---|---|
| 吾妻一夫会員 | H | 松崎さんスピーチ宜しく願い致します。 |
| 島隆章会員 | H | 9/1～4 マレーシアに行ってきました。台風にも会わず無事戻ってきました。 |
| 生田目正志会員 | H | 吾妻会長、県農業賞おめでとうございます。並びに、飯坂柔道スポーツ少年団の為に、お時間を作っていただきありがとうございます。 |
| 村上裕司会員 | S | 松崎会員のスピーチ楽しみにしています。宜しくお願いします。 |
| 菅野浩司会員 | S | 前回欠席お詫び 本日は松崎会員のスピーチとても楽しみにしております。宜しくお願いします。 |
| 安斎忠作会員 | S | 早退おわび |

【生田目正志会員よりご報告】

飯坂柔道スポーツ少年団で保護者会会長を仰せつかっておりますが、この度、クラブの中学生が東京の武道館で行われる全国大会に出場することが決まり、最近ではそれぞれの大会が多くなり、吾妻会長にご相談しましたら理事会で話していただきご寄付いただきました。ご報告させていただきます。

小笠原尚史会員 S 前回欠席おわび
鈴木 義明会員 T 前回欠席おわび
中島 定宏会員 T 欠席おわびと本日早退おわび
西山 友幸会員 T 松崎サン、スピーチ楽しみです。
松崎 義将会員 T 本日は会員スピーチという貴重なお時間を
いただきありがとうございます。

◆新会員スピーチ

松崎義将 会員



本日はこのような貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。新入会員ということで、私の話と会社の話を少しさせていただきたいと思っております。簡単な自己紹介になりますが、今年の4月に飯坂支局に参りました。1990年（平成2年）1月11日生まれで今年28歳です。出身は福島市で、趣味は子供と遊ぶ事とずっとやってきたサッカーをする事とサッカー観戦、下手ですがゴルフにはまっております。平成25年に福島民報社に入社し広告局の営業部に配属となりました。その後、平成27年に妻と結婚し、同年に郡山本社に転勤しました。その間に長女と長男が生まれ、今は家族4人で一緒に楽しく暮らしております。

福島民報社について、ご説明とご紹介をさせていただきます。創刊が明治25年8月1日で今年126年を迎えます。従業員数は約310人で、県内各地に支社支局があり、県外にも東京、大阪、仙台にあります。県内の各市に支社が11支社あり、支局は15支局あります。会社の部署を大きく分けると、記者がいる編集局、私が仕事をしていた広告局、新聞の発行部数を管理する販売局、イベントの立ち上げや運営を行う事業局、あとは総務局、最後に新聞を印刷する印刷局の6つに分かれています。弊社の主な取り組みは「地域づくり会社」をモットーに取り組んでおり、地域の取り組みや活動を応援させていただいております。また、「47クラブ」というのがありまして、全国47都道府県の地方紙が自分の都道府県の良い物を紹介して、ネット通販になりますが全国で買っていただくということをやっております。復興支援への取り組みですが、震災以降地元福島の復興再生のために色々と活動させていただいております。その中で「スマイルとうほくプロジェクト」では、東北の岩手、宮城、福島の三紙が合同で各地のイベントや紙面を通じて皆さんに元気になっていただけるような企画を行って参りました。「復興大使派遣事業」では県内に住む中学生を対象に、他県に福島の応援団として派遣しまして、風評払拭や復興を県外の方に伝えるように取り組んで参りました。「風とロック」という音楽イベントでは、郡山市出身の箭内道彦さんと一緒に立ち上げ、福島を音楽で元気にしようというイベントを毎年行っております。続いて、弊社主催のイベントをご紹介します。一番は福島駅伝です。毎年1月に白河から県庁を目指して市町村対抗で駅伝を行っております。また、福島キッズ博というイベントでは、毎年7月か8月にあずま総合運動公園体育館で子供向けのイベントを行っております。弊社メインの新聞発行について、ご紹介させていただきます。本日の新聞ですが、県内外で25万1千部の朝刊を皆様の届けさせていただきました。県北、県南、いわき、会津と4方部に分かれており、地方版といわれる2ページをそれぞれ差し替えております。その他にも新聞を発行する上で、今は福島市の佐倉に印刷工場があるのですが、新聞の休刊日以外は毎日25万部を皆様に発行させていただいております。しかし、我々が新聞を作っても販売店様のご協力がなければ購読者の皆様の元に新聞は届きません。県内に131の販売店様がございます。佐藤直前会長もそうですが、我々の作った新聞を読者の皆様に届けていただいております。販売店様がいらっしゃらなければ新聞は届きませんし、読んでいただければ、いかに良い紙面を作っても伝わりません。これからも、良い紙面を頑張って作り販売店様のご協力をいただきながら発行させていただきたいと思っております。弊社の最近のトピックスをご紹介します。今年11月の稼働を目前に二本松に新しい印刷センターを作っております。印刷センターの機械が寿命を迎えており、新しく印刷センターを設ける事になりました。新しい印刷センターになりますと、新聞のページが40ページになり、半分以上の24ページがカラーになります。もうひとつご紹介させていただくのが、クラウドファンディングを昨年より実施しております。最近では先日茂庭で行われました「茂活」というイベントは、サポーターズクラブさんや実行委員会さんでやっているイベントですが、これは弊社のクラウドファンディングに申し込みをいただいて実施しました。このクラウドファンディングというのは、弊社が事業主さんを募集して、弊社の紙面や広告でご紹介して、読者の方に資金を援助していただく取り組みになっております。

弊社紹介はこの辺にさせていただいて、私に話に戻りますが、私は入社して2年本社で広告をいただく営業をしておりました。元々、新聞社を希望していたのではないのですが、地元で就職したいと考えておりました。何か面接をした中で、母親から民報が募集しているよということで応募しまして何とか受かりました。本当に最初は色々な経験をさせていただきました。新聞は毎日皆さんの元に正確な情報をお届けしております。ですが、人間である以上間違える事が極稀にあります。私も入社した当時、お客様からやっといういただいた広告をお名前や電話番号を間違えて掲載したという失敗もあります。新聞は間違えなく正確で新しい、皆様のためになる情報を今後も発信して少しでも皆様のお役に立つように発行していきたいと思っております。弊社は「地域づくり会社」をモットーにしておりますので、飯坂に来て半年も経っておりませんが、皆様の温かさと活気のある飯坂を取材させていただいて、皆さんに密着して地域づくりに一緒に協力させていただきたいと考えております。取材を通じて情報をいただきながら、紙面を通じて各市町村の読者の方に多く広げていきたいと思っております。これからも飯坂のために紙面を通じて皆様のご紹介をしていきたいと考えております。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長